

2024年度第4回東京競馬特別レース名解説

<第1日>

○ tvk 賞

tvk は、横浜市に本社を置くテレビ神奈川の略称。1972 年開局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 赤富士ステークス

赤富士（あかふじ）は、早暁のわずかな時間に富士山が朝日に照らされ赤く染まる現象。晩夏から初秋にかけて見ることができる。葛飾北斎の「凱風快晴」をはじめとして、多くの絵画の題材に用いられている。

○ サウジアラビアロイヤルカップ（GⅢ）

本競走は、2歳マイル路線のさらなる充実を目的とし、2014年に『いちようステークス』の名称で創設された重賞競走。2015年に日本とサウジアラビア王国の外交関係樹立60周年を記念して、回次も新たに現在の名称となり、2016年にはGⅢに格付けされた。

本競走は、サウジアラビアジョッキークラブ（旧リヤド馬事クラブ）より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 昇仙峡ステークス

昇仙峡（しょうせんきょう）は、山梨県甲府市と甲斐市にまたがる峡谷。正式名称は御岳昇仙峡。荒川の急流が花崗岩山地を浸食して形成された奇岩絶壁は、見事な景観を誇り、紅葉の時期は多くの観光客が訪れる。

○ グリーンチャンネルカップ（L）

グリーンチャンネルは、BS デジタル放送、CS デジタル放送および全国のケーブルテレビなどで、中央競馬のレースを中心とした競馬情報と各種農林水産情報を放送している放送局。本競走は、同局より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 毎日王冠（GⅡ）

本競走は、1950年に創設された重賞競走。当初は距離2500m、定量の勝抜制で実施されていた。1955年に負担重量が別定重量に改められたことを機に、過去の優勝馬にも出走資格が与えられ、1984年に現在の距離1800mに変更された。

なお、第1着馬には同年の『天皇賞（秋）』への優先出走権が与えられる。

毎日新聞社は、東京など全国に4ヶ所の本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ 東京ハイジャンプ（J・GⅡ）

本競走は、1999年に創設された障害重賞競走。通常の競走では高さ130cmの竹柵2基と140cmのいけ垣が使用されるが、本競走では、高さ150cmの大いけ垣2基と大竹柵に変更して実施される。また、スタンド前のホームストレッチ半ばに可動式障害が設置されることにより、長い直線で最後まで目が離せない争いが繰り広げられる。

○ テレビ静岡賞

テレビ静岡は、静岡市に本社を置く放送局。1968年の開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ オクトーバーステークス（L）

オクトーバー（October）は、10月を意味する英語。ラテン語で「8」を意味する「Octo」が語源とされ、古代ローマで採用されていた3月起算の暦において8番目の月という意。

○ 西湖特別

西湖（さいこ）は、山梨県南部にある淡水湖。富士五湖のひとつで、面積は約2.1km²。周辺には溶岩でできた洞窟が存在しており、蝙蝠（こうもり）穴や竜宮洞穴は国の天然記念物に指定されている。

<第4日>

○ プラタナス賞

プラタナス（Platanus）は、スズカケノキ科スズカケノキ属の落葉高木の総称。ヨーロッパ南部からアジア西部が原産地で、日本には明治時代に伝わったとされる。花言葉は「天才」「非凡」。

○ 白秋ステークス

白秋（はくしゅう）は、秋の異称。中国の五行思想では、四季に色を当てはめ、それぞれ「青春・朱夏・白秋・玄冬」と表現される。

○ アイルランドトロフィー府中牝馬ステークス（GⅡ）

本競走は、1953年に創設された『東京牝馬特別』を前身とする重賞競走。創設時は2000mであったが、1955年に1600mとなり、1996年には『エリザベス女王杯』の前哨戦として1800mに延伸され、2011年にGⅡ競走に格上げされた。

また、1992年に『府中牝馬ステークス』に競走名が変更された後、2017年からはアイルランドのレパーズタウン競馬場との交換競走として、現在の『アイルランドトロフィー府中牝馬ステークス』の競走名で実施されている。同競馬場は、ダブリンの南に位置し『アイリッシュチャンピオンステークス』などが実施されている。

なお、第1着馬には同年の『エリザベス女王杯』への優先出走権が与えられる。

<第5日>

○ アイビスステークス（L）

アイビー（Ivy）は、ウコギ科キツタ属の常緑つる性低木。蔦（ツタ）の一種。耐寒性に優れ、日陰でもよく育つことから庭園などで栽培されることが多い。花言葉は「誠実」「友情」。

○ 神無月ステークス

神無月（かんなづき）は、陰暦で10月のこと。「かみなづき」とも呼ばれる。

○ 富士ステークス（GⅡ）

本競走は、『ジャパンカップ』の招待を受けた外国馬が出走できる競走として、第1回『ジャパンカップ』と同年の1981年に芝1800mの定量戦として創設された競走。1997年から1400mの別定重量戦として通常の国際競走に改められ、1998年にはGⅢ競走となった。その後、2000年から『マイルチャンピオンシップ』に繋がる競走として、実施時期は11月から10月に、距離は1600mに変更され、2020年からGⅡ競走へ格上げされた。

なお、第1着馬には同年の『マイルチャンピオンシップ』への優先出走権が与えられる。

富士（ふじ）は、静岡県と山梨県にまたがる円錐状成層火山の名。標高3,776mで日本一を誇る。2013年には、「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」としてユネスコの世界文化遺産に登録された。また、静岡県東部に位置する市。豊富な水資源や原材料の供給地が近いことから多くの製紙会社や工場があり、全国有数の「紙のまち」として発展した。

<第6日>

○ 山中湖特別

山中湖（やまなかこ）は、山梨県南東部にある淡水湖。富士五湖のひとつで、面積は五湖の中で最も大きい。周辺は豊かな自然を生かした高原リゾート地が広がっている。

○ 甲斐路ステークス

甲斐路（かいじ）は、甲斐国全体に通じている路。甲斐国は、旧国名のひとつで今の山梨県全域に当たる。古代甲斐国は「甲斐の黒駒」という名馬の産地として伝えられ、平安時代には信濃・上野・武蔵とともに天皇直属の牧場が置かれ、毎年都に馬を献上する駒牽（こまひき）が行われていた。

○ ブラジルカップ（L）

本競走は、日本とブラジルの修好 100 周年を記念して 1995 年に創設された競走。

ブラジルは、南アメリカに位置する連邦共和制国家。南米大陸で最大の面積を誇る。同国内にあるガベア競馬場では、『ブラジル大賞』や同国のダービーにあたる『クルゼイロドスル大賞』が実施される。

<第7日>

○ 伊勢佐木特別

伊勢佐木（いせざき）は、横浜市中区の地名および商店街。明治時代以来、横浜を代表する繁華街として発展してきた。

なお、イセザキ・モールの中には JRA の場外勝馬投票券発売所であるエクセル伊勢佐木がある。

○ 顕彰馬選定記念 キングカメハメハメモリアル

本競走は、中央競馬の発展に多大な貢献があったとして、キングカメハメハ号が本年顕彰馬に選定されたことを記念して実施される。

同馬は、史上初となる『NHKマイルカップ』『東京優駿（日本ダービー）』の両レース優勝を達成し、2004年の最優秀3歳牡馬に選定された。引退後は2010年、2011年と2年連続でリーディングサイアーを獲得。アパパネ号やロードカナロア号、ドゥラメンテ号といった数多くのGⅠ馬を輩出するなど、競走馬としても種牡馬としても輝かしい実績を残した。

○ アルテミスステークス（GⅢ）

本競走は、2歳牝馬路線のさらなる充実を目的として、2012年に創設された牝馬限定重賞競走。1600mの馬齢重量戦で争われ、関東地区における『阪神ジュベナイルフィリーズ』の前哨戦として位置づけられている。

アルテミス（Artemis）は、ギリシャ神話に登場する狩猟と純潔の女神。古代ギリシャでは、豊穡や多産の神として人々に信仰されてきた。

<第8日>

○ 本栖湖特別

本栖湖（もとすこ）は、富士山の北麓にある淡水湖。富士五湖のひとつで、最大水深が五湖の中で最も深い。北岸は富士山の好展望地となっており、美しい富士山を撮影しようと多くの写真愛好家が訪れている。

○ 国立特別

国立（くにたち）は、東京都中央部の市。市名は、1926年に中央線の国分寺駅と立川駅の間には2つの駅名の頭文字を取った「国立駅」が開業したことに由来する。駅から南に伸びる大学通りは、桜やいちょうなどの木で彩られる。

○ JRAウルトラプレミアム エイシンフラッシュカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『天皇賞（秋）』の歴代優勝馬の中から選ばれたエイシンフラッシュ号の名を冠した競走。

エイシンフラッシュ号は、2012年（第146回）の『天皇賞（秋）』優勝馬。同レースでは、天皇皇后両陛下の行幸啓を賜っての天覧競馬となる中、2010年の『東京優駿（日本ダービー）』以来2年5か月ぶりの勝利を飾った。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

○ 天皇賞（秋）（G I）

本競走は、1905年5月6日に横浜の日本レースクラブが、明治天皇から「菊花御紋付銀製花盛器」を下賜され創設した『エンペラーズカップ』を前身とする競走。

第1回の1937年秋は2600m、1938年春が2700mで、3歳以上の馬によって争われた。1938年秋から4歳以上3200mの競走条件となり、戦争で中断される1944年春（この時は能力検定競走として非公開で実施）まで続き、戦後の1947年春に『平和賞』の名で復活。同年秋から現在の名称である『天皇賞』となり、春が京都、秋は東京で実施され、長い歴史を誇る『天皇賞』は古馬最高の栄誉とされてきた。1981年に勝抜制が廃止されて過去の優勝馬にも出走権が与えられ、1984年には秋の『天皇賞』を2000mに短縮、さらに1987年には3歳馬にも秋の『天皇賞』への出走権が与えられた。これにより春は4歳以上で長距離の、秋は3歳以上で中距離のナンバーワンを決めるレースへと性格が明確に分けられた。

○ ペルセウスステークス

ペルセウス (Perseus) は、晩秋を代表する北天の星座。トレミーの48星座のうちの1つで、食変光星のベータ星アルゴルを持つ。名は、ギリシャ神話の英雄ペルセウスに由来する。